

事務事業名	藍工房管理運営事業	事務事業No.	30202000632	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	衰退しつつあった藍染めを保存伝承する目的でふるさと文化振興基金を使い、藍染め講座を実施する中で真壁藍保存会が設立。実際に紺屋だった家屋を修繕し、土地を利用し真壁藍保存会に管理運営を委託する。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	化学染料を一切使っていない天然藍のため、日本古来の藍色の美しさを認識し天然藍を維持する材料費が高価なため染色代が高く、希少価値があり高級感もある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	藍染めに興味をもっている方はたくさんいて会員も増えているが、市内での会員はなかなか増えていない状況である。生きている藍の管理を担える市民が会員に加盟してくれるよう、はたらきかけが必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	藍染めの体験をすることで、桜川市の伝統工芸に対して認識や関心が高まる。また、総合計画の伝統文化の保存伝承につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市の伝統文化として捉えているため、公共性に取り組む必要がある。今後も真壁藍保存会により天然藍が適切に管理されるよう併せて人材の育成にも支援する。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	真壁藍保存会の管理技術、藍染技術の向上また、デザインセンスの向上により現在も体験学習や講座希望者の人数の増加など年齢層に変化がみられる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	真壁藍染めをなくすことになり、市民の文化活動が停滞し伝統工芸継承が滞る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	藍の管理は特殊技術を要するため管理は熟知していることが肝要である。現在の委託料でも低廉であるため余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民が誰でも利用可能であり、受益の負担は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	藍染めに興味をもつひとは増えているが、市内の会員がなかなか増えない状況である。生きている藍の管理を担える市民が会員に加盟してくれるよう、はたらきかけが必要である。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="2">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td></tr> <tr><th>維持</th><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><th>低下</th><td>×</td><td>×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×
コスト																		
	削減	維持	増加															
成果	向上																	
	維持	○	×															
低下	×	×																
真壁藍の希少価値も広く理解されつつある。今後は藍管理業務までできる会員の育成を強化していく必要がある。市と賃貸主との賃貸借も契約期満了(平成29年度末)を目安に自主運営でスタートできるよう、会の組織も整理し準備を進めていくよう指導していく。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>